



学校だより

# 教育は愛

令和7年2月28日発行  
さいたま市立本太小学校  
Tel 048-882-3007  
<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>  
e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

校長 千葉 裕(ちば ひろし)

## ◆ 進級・進学に向けて！

学校では、3月5日(水)の「6年生を送る会」の練習が始まり、いよいよ、卒業モードに入りました。また、1年生から5年生も進級に向けて、学習内容の総まとめの時期を迎えています。3月は別れの季節です。しかし、同時に4月からの新しい生活の準備を進める季節でもあります。

3月中には、学級増に対応する転用教室の工事も完了する予定です。

また、この時期、お子様が、4月からの生活に不安や悩みを抱かれている場合には、遠慮なく担任や管理職までご相談ください。

残り少ない本年度の日々を思い出深いものとするため、教職員一同、力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。

保護者・地域の皆様、今月もご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## ◆ 「夢」は叶えるもの！

2月から6年生の子どもたちと「卒業記念会食」を校長室で行っています。子どもたちの小学校生活における思い、中学校生活への期待など、日頃、なかなか聞くことのできないお話を聞くことができ、私にとって、とても嬉しい時間となっています。

会話の中で「将来の夢」が話題になりました。一口に「夢」と言っても、海外旅行など、やってみたいことを話してくれる子、将来就きたい職業を話してくれる子、様々です。その中で「将来、宇宙飛行士になりたいです！」という「夢」を話してくれる子がいました。とても嬉しい気持ちになりました。

「夢」は見るものではなく、叶えるものです。ぜひ、本太小学校の卒業生からさいたま市の誇る若田光一さんに続く宇宙飛行士を！

☆「夢」は膨らみます ☆

## ◆ 6年生の女の子とミルクさん

冬の寒さから守るため、うさぎのミルクさんは、職員玄関で冬を越しています。

朝の見回りと挨拶を終え、職員玄関に戻ると、毎日のようにミルクさんをお世話してくれている6年生の女の子がいます。

うさぎは、なかなか懐かないと言われていますが、ミルクさんは、この女の子が来ると立ち上がって喜びを表現します。

「動物介在教育」という教育の分野があります。動物のぬくもりを通して命の尊さを理解し、優しい心をはぐくむ教育です。

英国の諺を思い出します。「子どもが生まれたら犬を飼いなさい」というものです。

**子どもが生まれたら犬を飼いなさい**

**子どもが赤ん坊の時、子どもの良き守り手となるでしょう**

**子どもが幼年期の時、子どもの良き遊び相手となるでしょう**

**子どもが少年期の時、子どもの良き理解者となるでしょう**

**そして子どもが青年になった時、自らの死をもって子どもに命の尊さを教えるでしょう**

私は、動物が大好きです。言葉は通じなくても心は伝わります。「愛」は動物と心の絆も結びます。女の子とミルクさんの姿から、そのことを改めて感じています。



※卒業生は15日間、在校生は17日間

3月の授業日、一日、一日を大切に！！

健康にはくれぐれもご留意ください。

◎「未来社会に向けて、シン化し続ける本太小学校！」～すべては、未来社会を生き抜く子どもたちの幸せのために～